



# 府連通信

2023年9月号②  
 日本中国友好協会  
 大阪府連合会  
 〒530-0013  
 大阪市北区  
 芝田2-3-19  
 東洋ビル本館207  
 TEL06-6372-8131  
 FAX06-6372-8132  
 郵便振替口座  
 00970-5-8978  
 E-mail:info  
 @jcfaosaka.org  
 ホームページ  
 http://  
 jcfaosaka.org/

## 二世支援署名をもつとふやそう！ どいでも誰にでも署名をお願い

この一年間、私は友人知人に「フリピンと中国の残留邦人」手紙を出したり、いろんな催しや集会に参加して、二世の生活実態を紹介し、署名をお願いしました。手紙には、切手付き返信用封筒を入れ、お願いしています。97歳の方から、団地をまるわって集めたと、数十筆送ってきてくれました。

ある研修会ではじめて会った方に署名のをお願いすると、用紙を持ち帰り100筆以上集めてくださいました。ミーデーや平和展でも訴え、署名をいただきました。これからは7月12日付友好新聞「尊厳ある暮らしを希望」と范秀芬さんの訴えをコピーして、配りながら、署名をお願いしようかと思えます。

この記事を読むと息が詰まります。映画「日本人が忘れたもの」

帰国者一世池田澄江さんや1500人もの「就籍」を実現し、た弁護士先生方なども映画に登場。法律でダメなら政治を動かそうとのお話は大変印象的で、励まされました。フリピン無国籍者、中国での残留邦人は、先にの大戦の被害者ですね。1931年9月18日、いわゆる「九一八」満州事変は、日本人を生み出した開拓団の元凶だと思います。(布川 雅章)

## 府連大会発言訂正

9月1日号府連通信の府連大会での浅田勝美さんの発言内容が不正確でした。ご指摘を受け訂正します。申し訳ありません。「毒ガス遺棄の調査・研究を続けています。これは、中国で遺棄された毒ガスの問題（日本が毎年国家予算を組んでいる）」

## 城北支部・納涼のつどい開催

8月26日「納涼のつどい」を昨年が続いて谷町6丁目の中華料理「興隆園」で開催しました。方も含めて参加者から「好！好！」初参加の方4名(うち2名は非会員)を含め17名の参加でした。佐藤支部長の挨拶、近藤さんの乾杯の音頭ではじまり、おいしい中華料理とビールや紹興酒を飲みながらしばらく歓談した後、参加者全員から一言発言をしてもらい、その後、何人かの参加者から余興を披露していただきました。府連副会長の山本さ



の声飛び交いました。松尾さんの太極拳「二十四式」表演、西脇さんの漢詩朗詠も好評を博しました。まだまだ暑い日が続く中、健康に留意しながら夏を乗り切つて、10月14日(土)

## 府連日より 中国語入門レッスン開講

### 中国語講座 10月開講

現在開講中の第118期は、9月中旬で終了します。初心者を対象とした「入門レッスン」は①9月25日(月)10時②9月29日(金)6時半〜開講します。

### 西支部総会近づく

西支部は1割以上の会員と読者を70名にが合言葉です。

西支部の文化行事は引続き、きりえ、や中国語、太極拳などに参加し、中国文化を少しでも知ってもらいたいと活動をしてきました。Zoomやライン(アプリ)等を使いこなせば身近な友達を行事や会員として迎える手段に活用できるのではと、会員拡大で10月の総会を迎えます。(松原 弥寿夫)

## 2024年カレンダー

### 中国悠久の旅

B4版 28ページ中綴じ  
 1200円(送料350円)  
 まだまだ出かけるには不安を感じさせますが、毎月のカレンダーで中国旅行をお楽しみください。ご注文は府連事務所、各支部役員まで。

### 府連理事会・府連大会日程

第1回理事会11月5日1時半〜  
 国労大阪会館3階中会議室  
 第2回理事会2月25日1時半〜  
 国労大阪会館2階第2小会議室

### 第70回大阪府連大会

24年7月7日(日) 1時半〜  
 国労大阪会館3階大会議室

## 「ビギナーズ台湾」シリーズ①

### 日本の植民地支配の始まり

台湾について高田佳音子さん担当で歴史や政治などシリーズで連載します。台湾(中華民国)は、沖縄県と那国島から100kmしか離れていません。台湾の面積は約36万km<sup>2</sup>で九州よりやや狭く、日本の面積と比べると約5%です。人口は約2340万人で、東京都と神奈川県を合わせたよりも少し多いくらいで、日本の人口と比べると約18.6%です。

2022年の調査によると、日本人が行きたい海外旅行先の1位が台湾です。グルメ、癒し、ゆったりと流れる時間が人気のようです。

一方で現在、台湾をめぐる日本とアメリカが軍事同盟を強化する状況もあります。台湾には日本の過去に触れざるを得ない歴史があります。日本は1945年の敗戦以来その歴史を反省しないまま、再び軍力から台湾に関心を向けています。まず50年に及ぶ日本の植民地支配の始まりからです。

1871年9月に日清修好条約が締結され、日本と清国の国交が結ばれます。この時日本は、清の冊封国(中国の皇帝と君臣関係を結んだ国)である琉球と朝鮮に進出をねらっていました。11月、台風のため台湾に漂着した宮古島の島民が台湾の先住民に殺されます。日本はこれを利用して琉球を日本の領土にしようとして、薩摩藩の属領としていた琉球に1872年琉球藩を設置します。そして「琉球は日本国である。清国が日本人を殺した生蕃を処罰しないなら、日本が処罰する」と、1874年に台湾に出兵します。台湾出兵は、近代日本初の海外出兵でした。開戦に踏み切れなかった清朝は、日本と北京議定書を締結し、琉球は日本の領土であることを認めさせられます。

1894年、朝鮮で甲午農民戦争(東学)が起ります。朝鮮の閩氏政権が清朝に援軍を求めたため清軍が朝鮮に出兵します。すると日本は、朝鮮と清国の冊封関係を断ち切るために朝鮮に出兵し、日清戦争が起ります。日清戦争は日本が勝利しました。1795年に締結された下関条約で、清国と朝鮮の冊封関係が否定されます。また台湾と澎湖諸島が日本へ割譲され、以後50年間、日本の植民地とされました。



## 女性部学習会 中国文化をもつと知ろう

9月17日(日) 午後1時半〜  
 府連205号室 資料代100円

# 記録更新を重ねる中国の若年層失業 若者の危機感は抗議の「白紙」運動に

## Ⅱ. 若年層失業問題の焦点 (1) 激増する大学卒業生への就業対策は?

万人は就職浪人となったという『中国経済新聞』アジア通信社。実態はこうなのに、王萍萍局長の4月解説では、2022年度の800万人規模の新卒就職待機者の行方には触れず、23年卒業生の就職が決まっていけば若年失業率は低下していくはず、と楽観していたのである。2023年上半期末に党中央、国務院は事態の深刻さを警戒せよと迫ったが、本格的な対策はまだこれからである。北京大学・張丹丹副教授は、労働市場不参加(在校生主)青年人口のうちの25%1600万人は職が必要なのに職探しをしない「隠れ失業者」と推定したうえで、実際の若年層失業率は46%に達すると警告している。『日本経済新聞』2023年8月4日

### 工業領域・経済類型別 (価値増加)

国有株式制企業	6.6%
株式会社	4.4%
外資・外資系	11.8%
私営企業	1.6%

資料. 国家統計局

## (2) 入口と出口両面で 矢面に立たされる若者たち

先に若年層失業率(16~24歳)が極めて高いにもかかわらず、全体失業率(16~59歳)が5%台で比較的安定している。述べたが、それは25~59歳の各年齢層の失業率が低いうえに、就業者全体に占める若年層の割合が小さい(16%)ので、全体失業率への影響が及ばないという指摘がある。

西支部定期支部総会  
10月8日(日)2時~  
大阪国労会館2階

城北支部定期支部総会  
10月14日(土)5時半~  
城東区民センター3階



## 太極拳で動ける 体づくりを学ぶ

コロナ禍による景気後退が各産業、各企業に雇用調整を強いたのは当然だが、若年層失業率の高さには、そうした雇用調整にあたって若年層が真っ先に削減対象となるという。「中国では会社側の都合により労働契約を解除する場合、勤続年数に応じた補償金の支払いが義務化されているため、そのしわ寄せが若年層に集中する。あるIT企業の解雇の対象となっているのは、主に入社後3年未満の若年層で、全体の8%を占める。それに対して入社後10年以上は5%未満にすぎない」(三浦有史・日本総研) (山本恒人) (続く)

太極拳東海ブロック合宿が9月2日から名古屋露橋スポーツセンターで45名が、大阪から10名が参加して行われました。講師は恒岡正勝本部指導員、今回のテーマは「太極拳で動ける体づくり」太極拳でいう「一動全動」は、一つ動けば動かないところはなという意味で、骨格や筋肉の位置などを確認しあいながら、全身を連動して動くからだ作りを学び合います。正しい姿勢でしゅわいしようが出来るれば、極意の「双竜遊水」二匹の竜が昇龍、降龍の動きをします。

## 中国語を学ぶなら百科検定の受験を

最近、ますます中国語を学ぶ人が増えています。特に中国語を学ぶ学生が増えているように思います。しかし、中国語を学ぶことはもちろん、中国についても知ることも重要です。第13回の中国百科検定では、10代と20代の受験者が合わせて77%も受験し過去最高です。「中国を知りたい」と「知識・教養」が合わせて77%「就職活動」と「学校の勉強」が合わせて40%でした(複数回答可)。中国について知りたいという動機での受験は何よりですが、就職や学校での勉強のために受験することも良いことです。検定を機に中国について知りたくなるかもしれません。

私は、中国語を学ぶ人、特に学生にとって中国について知る機会である、中国百科検定の受験が重要であると考えます。中国について理解せずに、中国語が話せることは、危険なことであります。次回の第14回の中国百科検定は12月2日です。ますます、受験者数が増えることを期待しています。10月14日に大正大学で行われる「第8回HSK中国留学・就職フェア2023」に日中友好協会がブースを出すことが決定しています。このイベントで、多くの中国への留学や就職を考えている人、中国と結びつきのある企業に知っていたらと思えます。9月17日には、中国百科検定講座として、駒沢大学の神谷智幸先生が「中国の言語状況や中国語について」というテーマで講義してくださいませ。Zoomで2時から4時半開催、ミーティングIDは35699049245、パスワードは622566。李拓

## 堺支部 中国留学生もスタッフで参加

### 「いのち」輝け未来へ！希望の一座公演

日中友好の輪が広がる秋の始まりとともに、「いのち」輝け未来へ！希望の一座公演が9月24日(日)1時半からフェニーチェ堺大ホールで開催されます。

「希望の一座」のわらび座OBや民俗芸能アンサンブル若駒、スーホの白い馬モンゴル楽団、まつり芸能集団田楽座、市民合唱団ワン・ピースによる、うたや祭りばやしを聞かせてきます。堺支部は、希望のあしたをひ

## 漢詩漢文を楽しむ 杜甫 魅力再発見

8月27日漢詩漢文を楽しむ講座「杜甫 魅力再発見」シリーズの第4回が国労会館で23名の参加で開催されました。講師は岡山大学名誉教授の下定雅弘日本杜甫学会会長が前回の質問に答えて説明され、第3回の資料の補講を「杜甫の叙景手法の特徴と叙景への姿勢」などを解説されました。中国成都テレビ作成のビデオに下定さんがインタビューをうけているシーンが入っていました。分かりやすい内容で成都の美しい風景が映っているビデオです。



5月から始まった「杜甫 魅力再発見」は残すところ9月24日と10月22日の2回となりました。追加の募集中です。参加費は1000円で、1回のみのもので参加も可能です。

を広げています。ご協力をお願いいたします。公演当日「賛同募金」を頂いた方に入場券をお渡しします。なお、留学生と学生は無料招待いたします。連絡先は、堺支部事務局 080-3869-0866 上村康夫までお願いします。